

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

令和8年度 技術情報第12号(サツマイモのムツスジアシナガゾウムシ第一世代成虫に対する防除)について (送付)

サツマイモのムツスジアシナガゾウムシ第一世代成虫に対する防除について、下記のとおり取りまとめましたので、周知及びご指導をよろしくお願いいたします。

なお、本情報は、病害虫防除所ホームページ (<https://www.pref.kagoshima.jp/ag13/kiad/boujoshou/index.html>) にも掲載しています。



令和8年度 技術情報第12号

サツマイモほ場でのムツスジアシナガゾウムシは、一部で6月に第一世代成虫が認められ、今後、7～8月にかけて増加すると、生育不良による収量の低下を生じる恐れがありますので、ほ場をよく見回り、成虫や食害の進展が認められたら、早期防除に努めてください。

1 対象病害虫 ムツスジアシナガゾウムシ

2 対象作物 サツマイモ

3 発生状況

- (1) 令和8年6月に霧島市のサツマイモほ場で、本虫の発生を確認し、確認市町は鹿屋市、曾於市、志布志市、大崎町及び東串良町と合わせ6市町と拡大している。
- (2) 鹿屋市、志布志市及び大崎町のサツマイモほ場(各5筆)を調査(被害が多いほ場外縁の畝を調査)した結果、6月上旬は成虫数が増加し、被害新梢率が上昇したが、下旬は成虫数がやや減少し、被害新梢率もやや低下している(図1)。新梢の発生も増加しており、生育の回復がみられる。
- (3) 3月植と4月植のサツマイモほ場で膨らんだ茎(図2)を割いて調査すると、いずれも既に成虫になり脱出した茎が確認された。また、3月植は4月植と比べその割合が高いことから(図3)、被害の進展も早まることが予想される。
- (4) 第一世代成虫の発生盛期は7月中旬から8月上旬頃と予想される。

4 防除上注意すべき事項

- (1) 本虫は、サツマイモほ場で二世代程度を経過し、第一世代成虫は7～8月頃、第二世代成虫は9～10月頃に発生する。本虫の寿命は長く、無防除の状態では成虫数が増加し、被害は進展するので、各世代の成虫の発生時期を中心に防除する。
- (2) 農薬で防除する場合は、本虫に登録のある農薬もしくは植物防疫法第29条第1項目の適用を受けている農薬(令和8年度技術情報第11号、令和8年7月3日付)を用い(表1)、安全使用基準を遵守し、周囲に飛散しないように十分注意する。
- (3) 散布ほ場周辺に収穫間近のほ場がある場合は、農薬の飛散により周辺ほ場の出荷に影響を及ぼす恐れがあるため、周辺ほ場の生産者と十分に連携をとり、散布時期や散布方法を調整する。特に、周辺に茶園のあるサツマイモほ場では、チャにおける使用時期、使用回数がサツマイモと異なる場合があるため、茶園への飛散防止に十分留意して防除を行う。
- (4) 農薬がつるや葉柄など成虫が加害する部位によく付着するよう丁寧に散布する。
- (5) サツマイモほ場周辺のヒルガオ科雑草を除去し、環境整備に努める。

5 調査結果

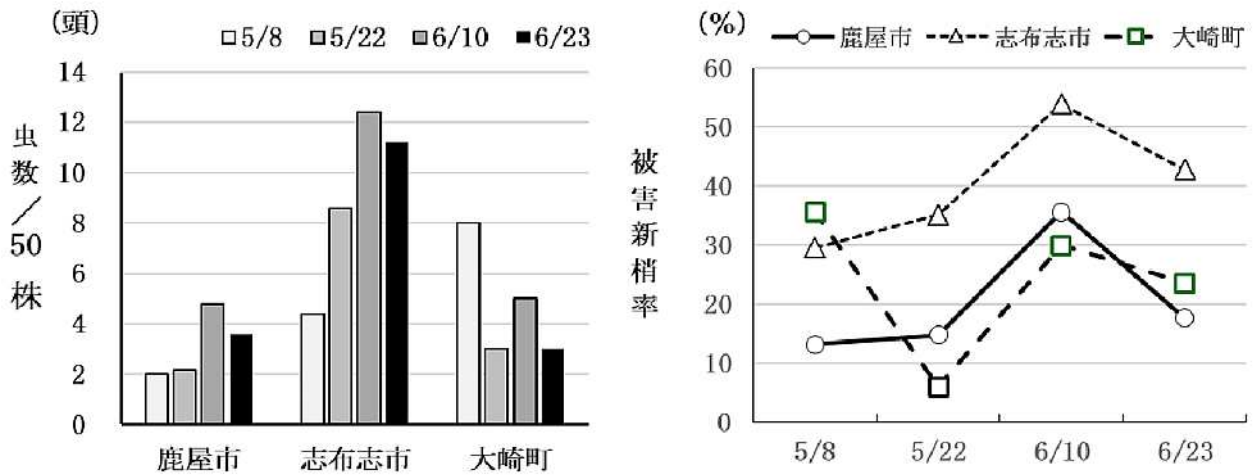


図1 サツマイモほ場におけるムツスジアシナガゾウムシの発生と被害新梢率の推移（令和8年）

注1) ほ場数：各市町とも1地点5筆

注2) 虫数：新梢調査の際の見取虫数（生育が進むと茎葉が繁茂し調査が困難となるため、見とれる範囲での調査となるため、株全体の虫数の調査ではない）

注3) 被害新梢率：1ほ場当たり被害が多く認められるほ場外縁の畝の25新梢を2カ所（計50新梢）調査



図2 幼虫の寄生により膨らんだ茎

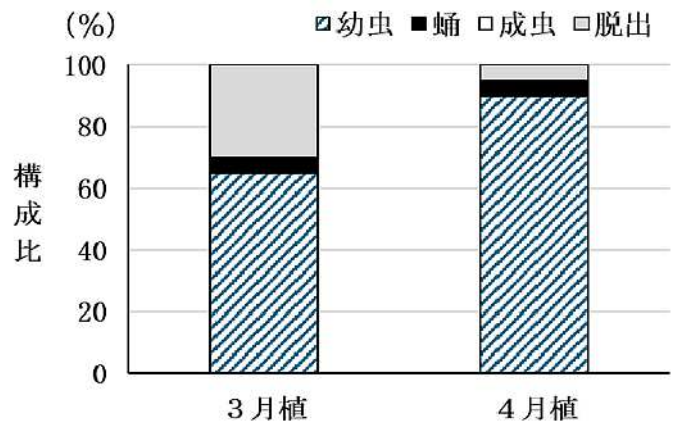


図3 サツマイモ茎内でのムツスジアシナガゾウムシの発育状況

注1) 調査月日：令和8年6月23日

注2) 調査地点：志布志市

注3) 調査茎数：各20茎

表1 サツマイモでムツスジアシナガゾウムシに対して使用可能な農薬一覧

商品名	IRACコード	希釈倍数	使用液量	使用時期	使用方法	使用回数	適用病害虫										
							ムツスジアシナガゾウムシ	アブラムシ類	タバココナジラミ	コナジラミ類	ヨツモンカメノコハムシ	ハダニ類	ナカジロシタバ	ヒルガオハモグリガ	ハスモンヨトウ	イモコガ	
コテツフロアブル	13	2000	100~300L/10a	収穫前日まで	散布	2回以内	○			○	○						
スミチオン乳剤	1B	1000	100~300L/10a	収穫7日前まで	散布	5回以内	○	○		○							○
トクチオン乳剤*	1B	1000	100~300L/10a	収穫21日前まで	散布	3回以内	○*					○					○
グレーシア乳剤	30	2000~3000	100~300L/10a	収穫7日前まで	散布	2回以内	○		○		○	○					○
ベネビアOD*	28	4000	100~300L/10a	収穫7日前まで	散布	3回以内	○*	○		○		○	○	○	○	○	○
		40	1~2L/10a	収穫7日前まで	無人航空機による散布	3回以内	○*	○		○		○	○	○	○	○	○

注1) 登録内容：令和8年6月25日現在

注2) *：植物防疫法第29条第一項の適用により使用可能な農薬を示す